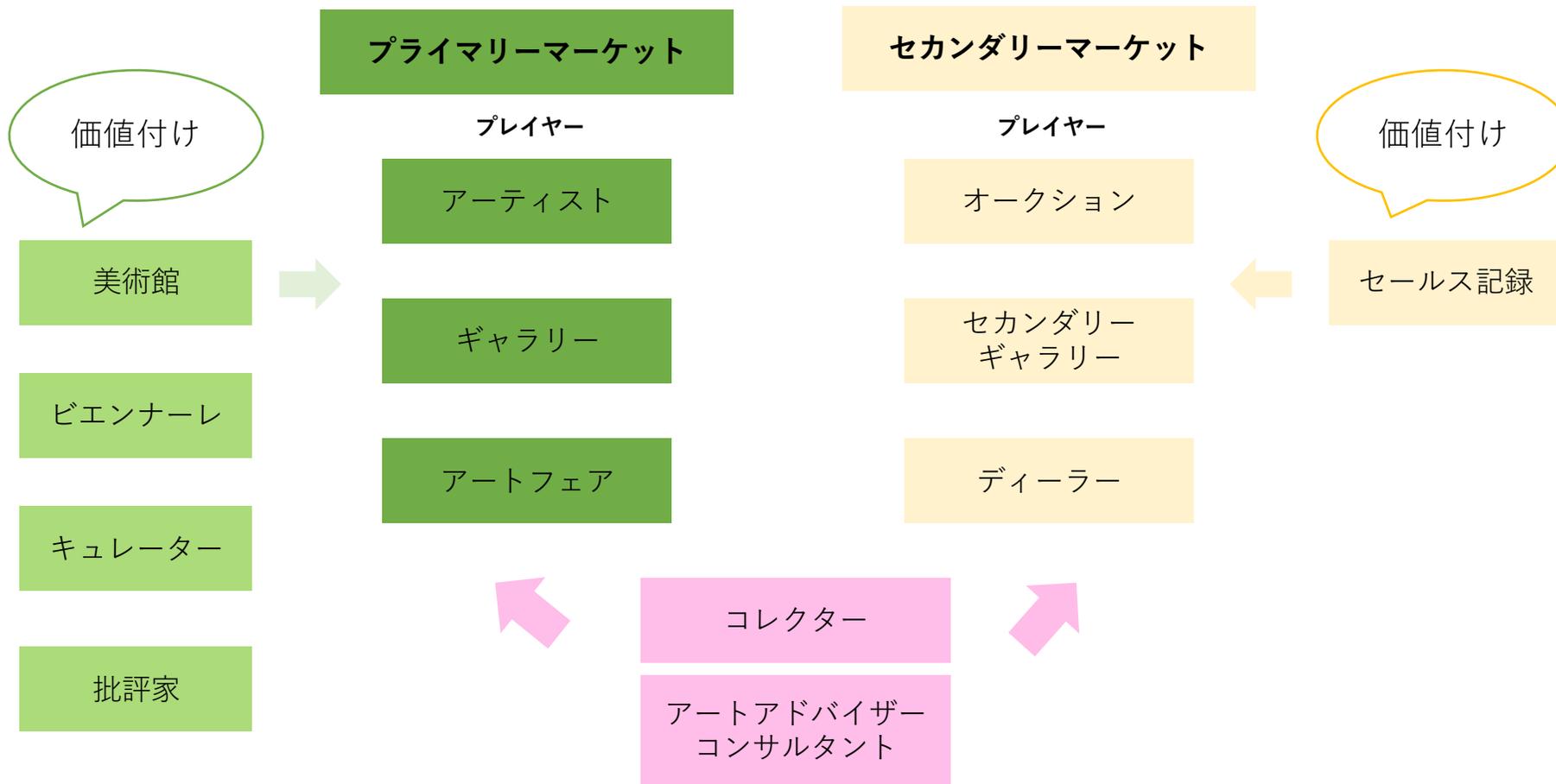
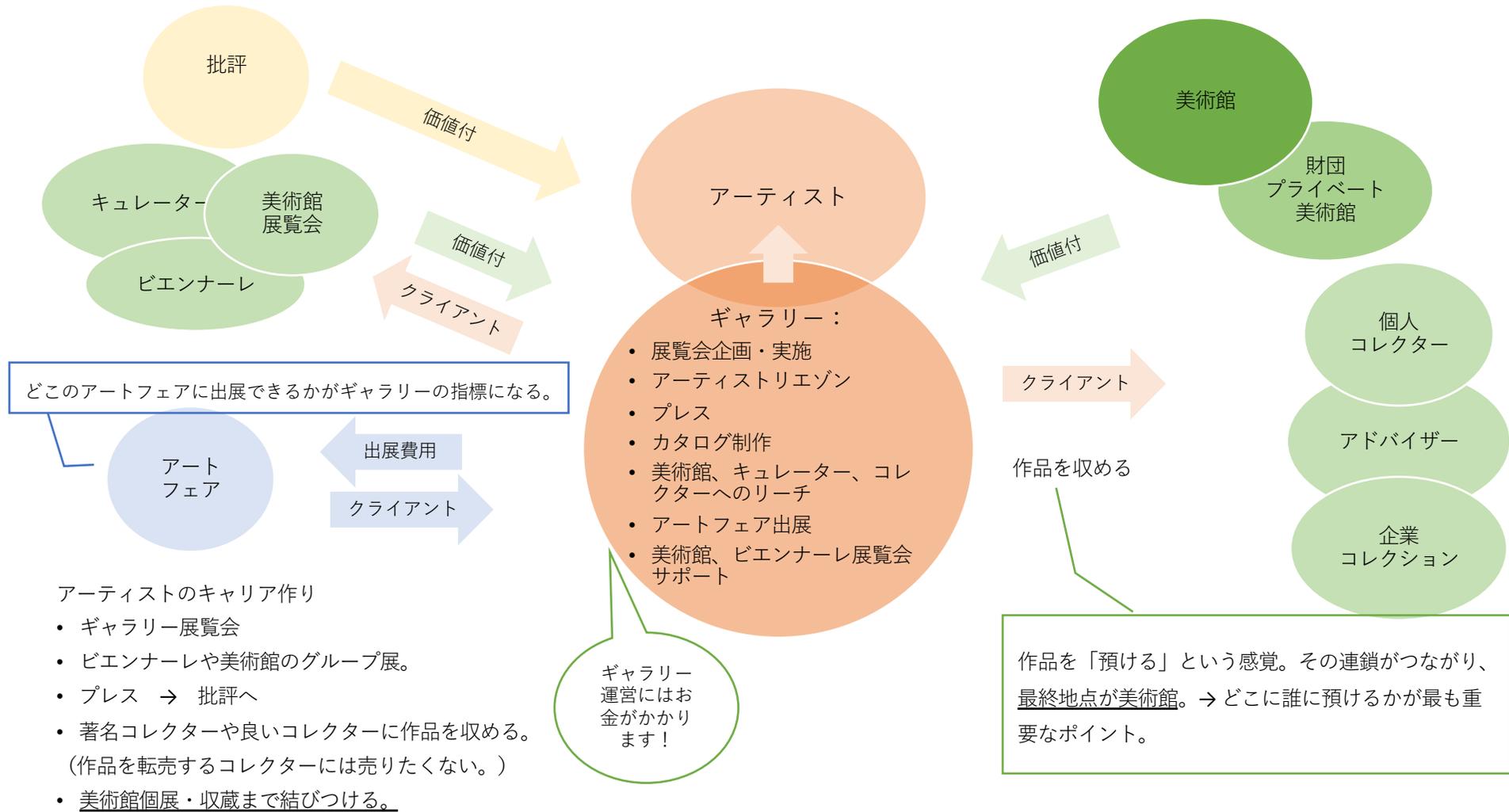


アート業界のエコシステムと日本の現状

2022 7.21 武田菜種

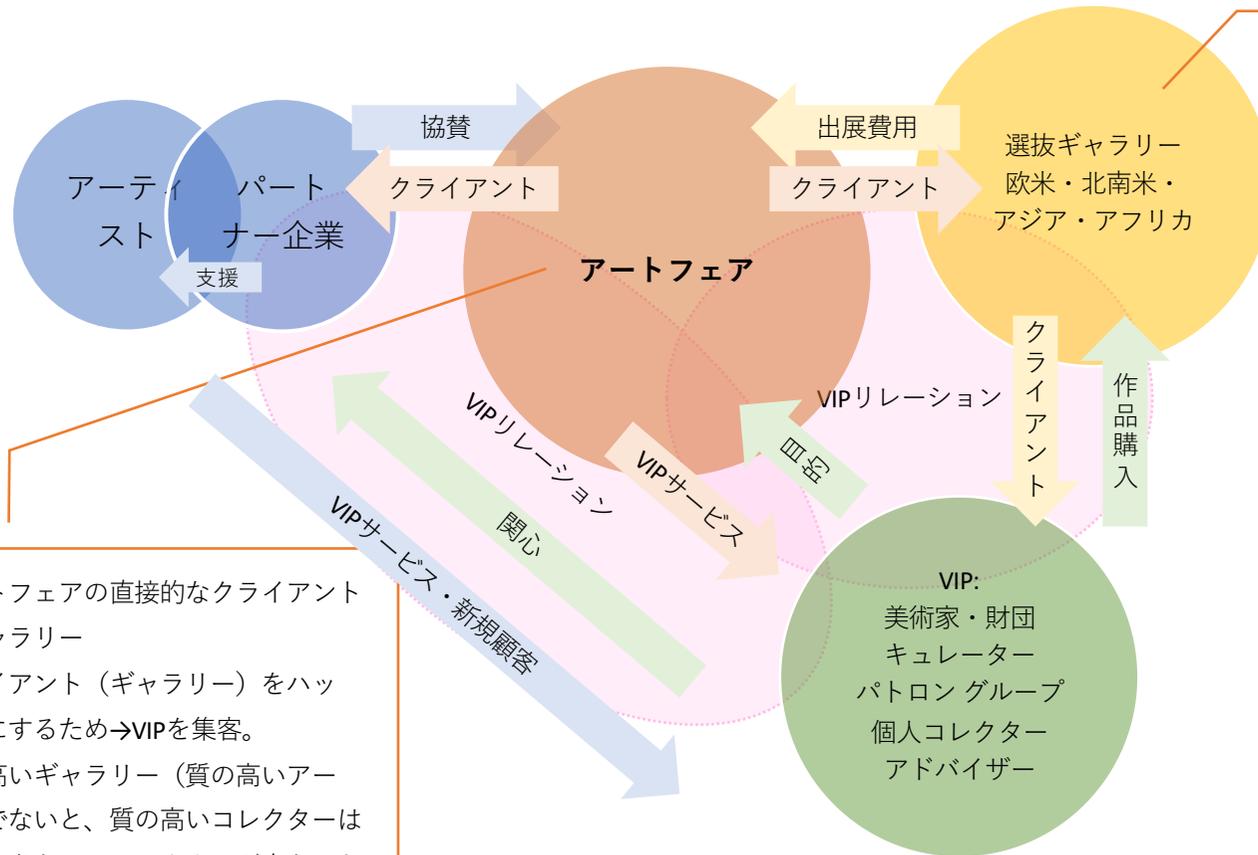


ギャラリーの役目：アーティスト発掘からキャリアを上げる。



アートフェア: プライマリーマーケットのサポート

各ギャラリーの顧客をシェアし、ビジネスチャンスの拡大をはかる。



ギャラリーのセレクションでブランド力を保持：セレクションコミッティによる厳選なる審査の元選ばれたギャラリーのみが出展。

→

- 世界の質の高いギャラリーを網羅
- リサーチにも最適な場。
- ギャラリーの指標。

- アートフェアの直接的なクライアントはギャラリー
- クライアント（ギャラリー）をハッピーにするため→VIPを集客。
- 質の高いギャラリー（質の高いアート）でないと、質の高いコレクターは集客できない。コレクターが来ないとアートフェアは成立しない。

アートフェア

コミュニティ形成：質の高いアート、アーティスト、キュレーター、批評家、美術館、コレクターなど、アートワールドのトップにいるプレイヤーが一同に介し、情報交換、発見、発信していくサロンのような場。

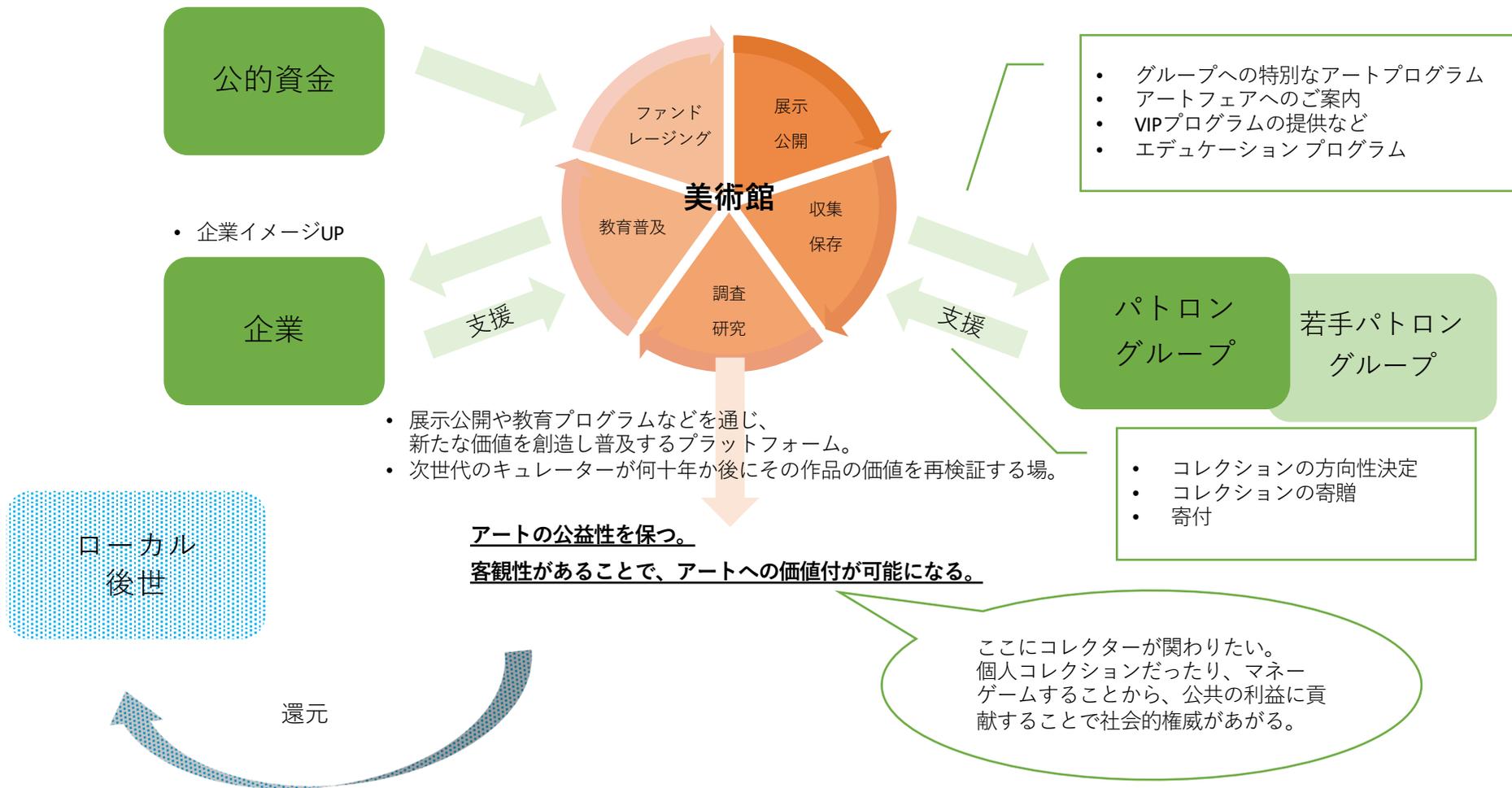


還元

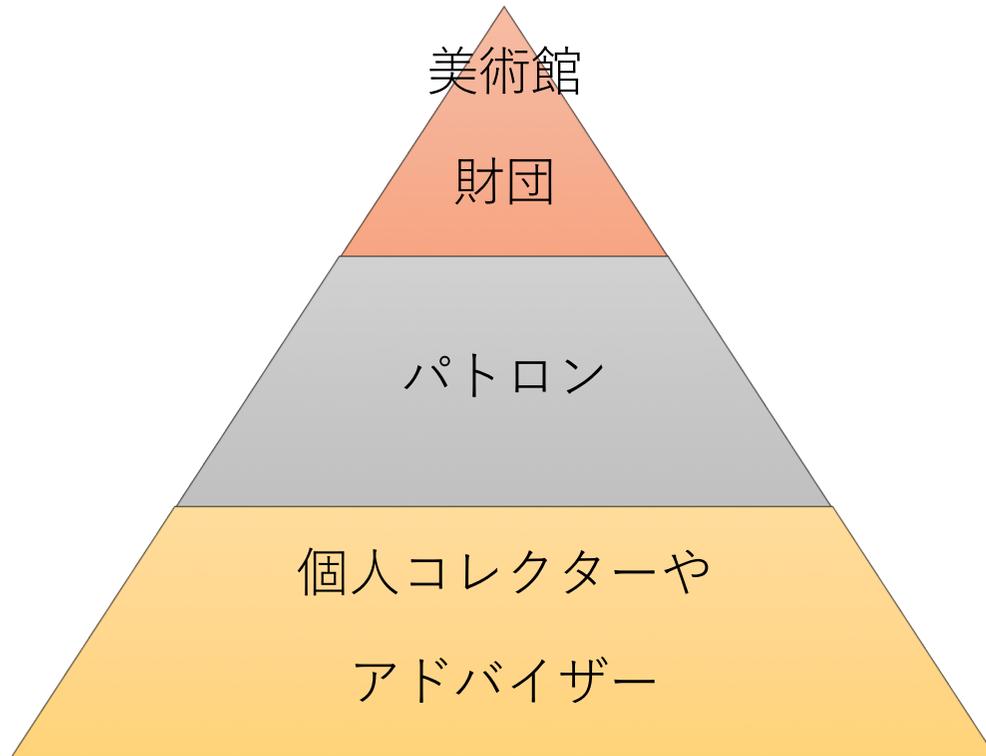


- ローカルアートシーン
- 観光業界
- レストラン

美術館の役目：作品、作家の新たな価値付けを検証。後世に文化継承していく。

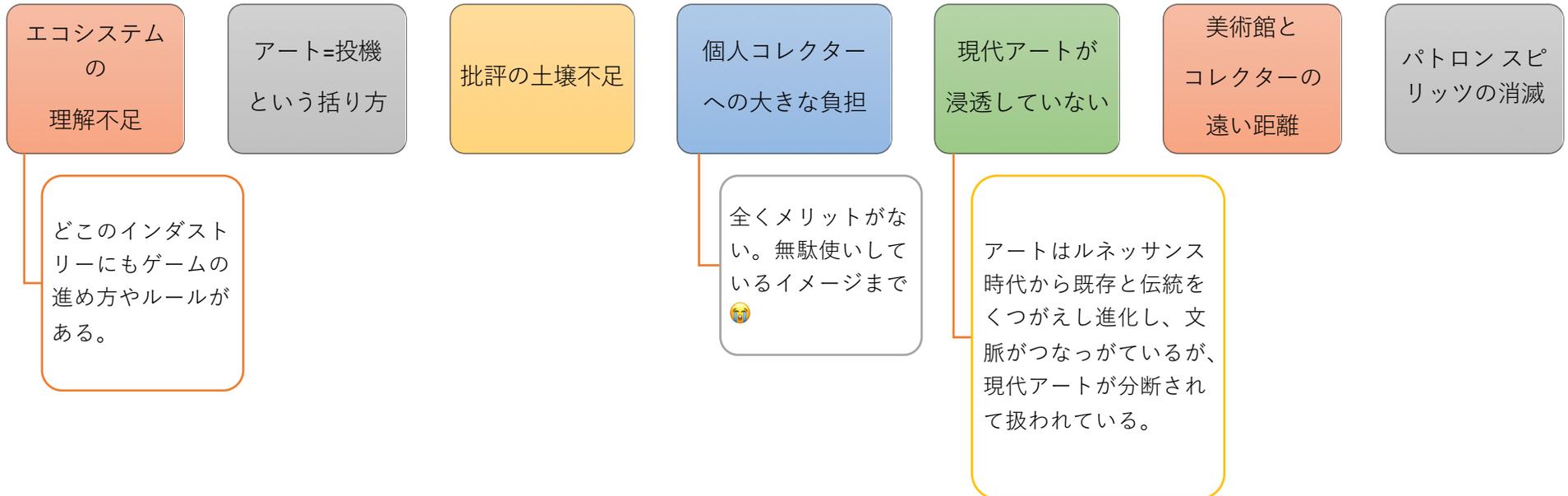


コレクションの構築、コレクター

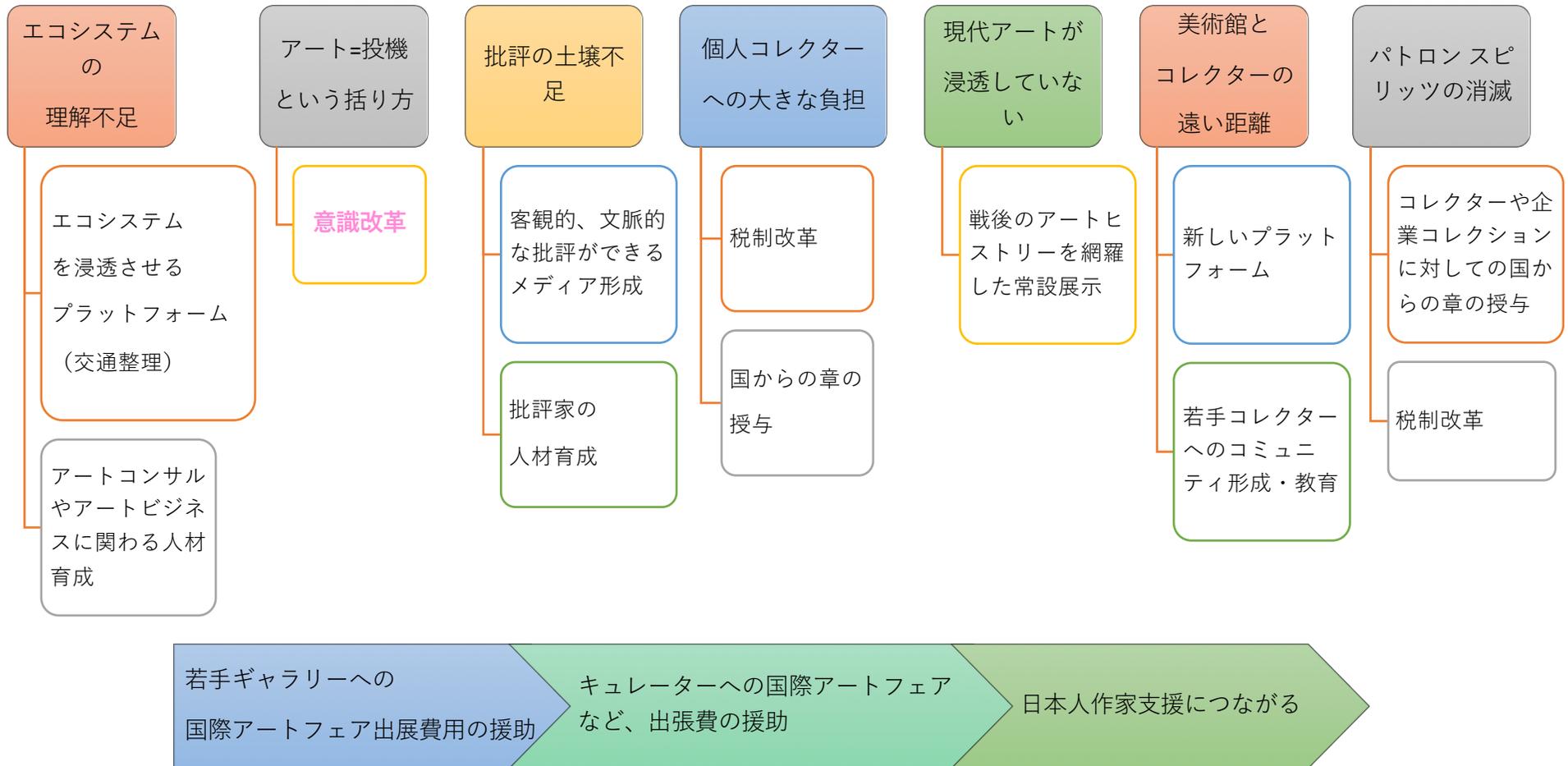


- 良いコレクションの構築：アートヒストリーやアートの文脈を踏まえ、また、アートシーンの現状などの知識が必要。
- コレクションを構築することは、後世に向けての文化継承。→ 欧米ではコレクション、また、公益な活動に関われば関わるほど、社会貢献とみなされ、社会的地位があがる。
- ソーシャルツール：日本でいうところの茶の文化にも似ている。文化教養度の指標。
- 最も尊敬されるコレクター：勉強熱心。美術館に寄付するなど公益的な関わりに積極的。美術館のパトロンメンバーに選ばれる。または、財団、プライベート美術館を保有。作品を転売しない。
- アドバイザー・コンサルタント：良いコレクション構築のサポート、アドバイスをし、実際に購入、輸送手配、設置、作品管理に到るまで、幅広く担当。主要アートフェアや、各国の主要ビエンナーレ、美術館の展覧会、オークションなど、情報を常に集める必要がある。ギャラリーとの信頼関係の構築も重要。

日本の現状・問題点

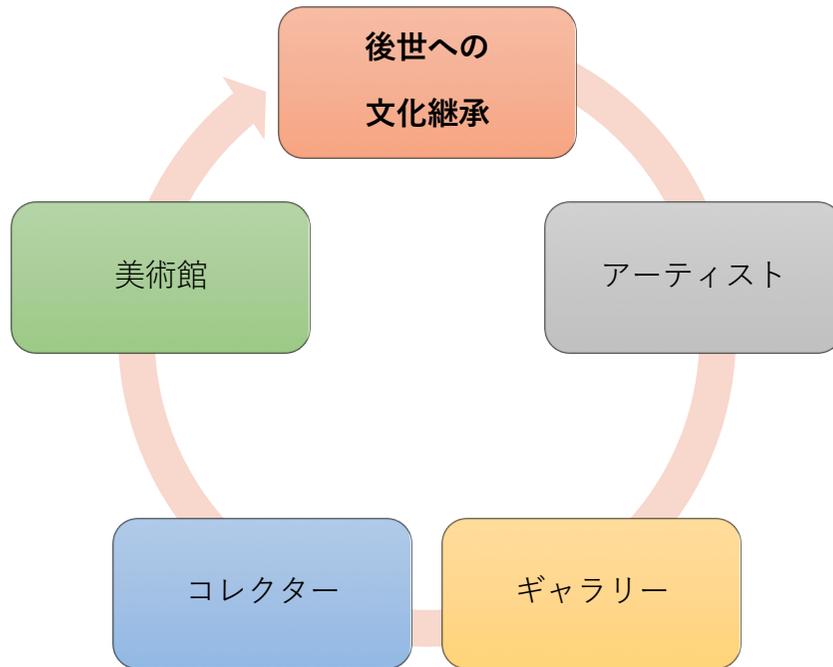


日本の問題点→改善方法の提案



最も重要な点について: 意識改革

アートに関わる全ての人が文化継承という営みの歯車の一員。



- 現代アートとは今を生きるアーティストが作る作品。作品を通し私たちの取り巻く今の環境、社会情勢、変化を反映しながら、新しい考え方や視点、自由な発想を提供し、受け手側に考察する機会をもたらし対話を生む。そこが重要。
- アートコレクションは、文化を後世に継承する活動の一つで社会貢献。（ピカソや、モネの作品を鑑賞できるようになっているのは、過去に関わった全ての人々の営みのおかげ）個人コレクターであれ、パトロンであれ、ギャラリストであれ、どんな立場であれ、アート界での自分の立ち位置を理解し役目を全うすることで、アート作品の保護、アートヒストリーの文脈をつなぎ後世へ文化継承していくことに。アートに関わる全ての人々がその歯車の一員であるというという認識を浸透させたい。

アート=投機、マネーゲーム、無駄使いのイメージの払拭。
社会的、文化的側面をより強調。→ 国による資金的支援や意識改革のイニシアチブ

Mera and Don Rubell, Rubell Museum

美術館の運営というより、私たちの時代を代表する最も重要なアートの貯蔵庫として機能させている。



- 1965年よりコレクション開始。1993年にアメリカで初のプライベートミュージアムをマイアミに設立。マイアミのアートシーンを成熟させる初めの一步に。
- 所有作品7,200点、アーティスト数にして1,000名ものコレクションを保有
- 2019年、新スペースをオープン。10万スクエアフィート(9,300平米) 300~400作品を展示。ギャラリー40室、パフォーマンス空間や書店、レストランも備える。
- 「売るためにコレクションしない。重要なのは、アートが私たちの結婚を長続きさせ、家族の絆を強くしているということ。アートを通して、自分たちの立ち位置を認識し、アートが新しい気付きをもたらしてくれる。また、将来にまだ希望があるのだと感じさせてくれる」と。

Dominique de & Jean de Menil, Menil Collection

Through art, God constantly clears a path to our hearts.
アートを通して、神は絶え間なく私たちの心に至る道を示すのです。



- ジョン・デ・メニル、ドミニク・デ・メニル夫妻により、テキサス州のヒューストン郊外に1987年6月開館。
- 夫妻は油田探査のシュルンベルジェ社を経営する一家で、1941年、フランスからヒューストンへ移住。
- フランスでのアートに対する知見をもとに、美術品の収集を始める。コレクションが増えるにつれ、夫妻の情熱はヒューストンにアートのコミュニティを作ることまでに広がり、自身のコレクションの一部をヒューストンの美術館や大学に寄贈、市内の文化シーンの重要人物となり、多くの地元組織の設立を支援。
- ジョンの死後、夫人がメニル財団を創設、夫妻が収集した現代美術を中心とするコレクションと他のコレクターからの寄贈作品を合わせ、古代彫刻、アフリカ芸術、マヤ文明やオセアニア美術や幅広く、15000点の作品を保有する。